

## 【議事録】第3回 岡崎活性化本部乙川リバーフロント推進部会

日 時：平成26年10月22日（水）14時00分～16時00分  
会 場：市役所 福社会館6階 大ホール

### 概 要

「デザイン方針案の修正」、「乙川リバーフロント協議会の提案」、「各場所における利活用」について議論が行われた。特に（仮称）岡崎セントラルアベニューの利活用について多くの意見交換が行われた。

### 議事内容

#### 1 開会

岡崎活性化本部より開会宣言。

#### 2 あいさつ

座長より開会のあいさつを行った。

#### 3 議 事

##### (1) デザイン方針について

- ・ 事務局より、「デザイン方針案」の位置付け及び、変更点について説明を行った。
- ・ 位置付けとしては、今後、岡崎市が行う設計においてデザインの指針案として参考にさせていただくものとする。
- ・ 内容について、P2「継承性」を追加。P8 「5-③中央緑道は新しい人道橋から籠田公園が見通せる広い空間を確保する」とするデザインに修正。
- ・ デザイン方針案は部会員に了承された。

##### (2) 乙川リバーフロント協議会について

- ・ 事務局より、スライド資料を用いて説明を行った。
- ・ 岡崎市が「かわまちづくり支援制度」について説明し、事務局より「（仮称）乙川リバーフロント協議会」の設立について提案した。

#### 〔意見交換〕

##### 岡崎市

- ・ 従来河川管理者はあまり河川内を利用してほしくない、という立場であったが、近年、国が中心となり、より河川を利用させていただこうという考えに変わってきた。さらに、河川を利用したい地域の方々を応援しようという方向に変わってきている。
- ・ 河川管理者にはコスト面も含め、より一層の支援をいただきたいと考えている。

## 部会員

- ・ 資料「かわまちづくり支援制度の概要」のフロー図にある「住民等」が重要。できるだけ動ける若い人に活動してもらうことが大事。専門知識や深い趣味を持った人達を中心に「自分たちの夢が実現できるぞ」という気持ちを持った組織としてほしい。

## 事務局長

- ・ スライドにより（仮称）乙川リバーフロント協議会について説明を行った。

## 岡崎市

- ・ 河川空間をより利用していただく方向性ではあるが、好き勝手に利用を希望すると収拾がつかなくなる。また、観光船などの様々な要望があがることも考えられる。それらの整理を行う組織として協議会を設ける必要がある。
- ・ 実行委員会は、協議会に議題をあげる前にある程度整理を行うこと、具体的な活動のこと、経理的なことなどの実務を行う組織である。
- ・ 協議会、実行委員会ともに国、県の方にも加わっていただき、ご協力をお願いしたい。

## 副部長

- ・ かわまちづくりの対象範囲は、乙川リバーフロント地区整備の範囲か。または、それ以上の範囲となるのか。

## 岡崎市

- ・ 現時点では、乙川リバーフロント地区整備の範囲とする。申請後、範囲の変更は可能である。

## 副部長

- ・ 乙川の水質をきれいにということでは上流が重要となる。最初の第一段階は、範囲を広げ過ぎても良くないと思うが、ゆくゆくは乙川水系全てを綺麗にするという大きな動きになればと思う。

## 部長

- ・ 次の段階として実行組織が立ち上がる状態にきている。これからが正念場である。組織が立ち上がるこの期に、足りないものを補い、進めて行く必要性を皆さんと共有したい。

## 事務局長

- ・ 今後、皆様に色々と相談させていただきながら進めていきたい。

## (3) 乙川リバーフロント地区の利活用について

- ・ 務局より、スライド資料を用いて説明を行った。

## 〔意見交換〕

### ア （仮称）岡崎セントラルアベニューについて

#### 部会員

- ・ 観光協会においてもイベントや人の集まることが考えたい。

#### 部会員

- ・ セントラルアベニューは仮称であるが、どのように決めるのか。

#### 岡崎市

- ・ 最終的に整備が終わるのは5年後である。全体像が見えてきたら、例えば市民募集などを行い、決めていくことになるのではと思う。

## 部会員

- ・ せっかく「江戸のふるさと岡崎」ということで、横文字よりも日本語の方が良いと思うが、それも含めてデザインとなると思う。
- ・ これだけのイベントを行うとなると忙しくなる。全部行えたら楽しいと思う。「あそこに行くといつも何かをやっている」という場所が欲しかったし、それが(仮称)セントラルアベニューになれば良いと思う。
- ・ できるだけ自由な空間になるば良いと思う。

## 部会員

- ・ 川がメインということではあるが、(仮称)セントラルアベニューは籠田総門の碑があり、国道1号線も通っている。川と道。五街道の整備、籠田公園は伝馬通りとも接している。歴史的な背景を踏まえた上で空間の位置付けを明確にすることで、外から来られる方に魅力的に映ると思う。岡崎の理念とは何かを踏まえて行うことが肝要である。

## 岡崎市

- ・ (仮称)セントラルアベニューはH31年度に完成予定である。
- ・ (仮称)セントラルアベニューは中央緑道をカタカナにただけであり、今後、名前をつけるにあたり、使い方を考えて行く中で何が一番望ましいかを市民の皆さんに考えていただければと思う。

## 部会長

- ・ (仮称)セントラルアベニューに関する議論が色々あったが、リバーフロント全体計画を見たときに、大切なキーワードとして「回遊性」がある。この場だけが(仮称)セントラルアベニューという名称を持つことが良いのかどうか疑問が残る。そういう問題も含めて慎重に議論していただきたい。

## 部会員

- ・ 部会で議論をし、岡崎市で形にする上で大事なことは、物を作るということではなく、市民を巻き込んでいくことである。市民の皆さんが描き易いキャンバス(空間)をつくることが重要だと思う。固定の形や使用方法などがなるべくないことが、市民の皆さんを巻き込んで楽しい場所をつくる上で重要であると思う。

## 事務局長

- ・ なるべくフリースペースとして考えている。市民を巻き込む段階では、「まち会社」、「りた」などに協力していただく必要があると考える。

## 事務局長

- ・ 利活用の課題について説明を行った。
- ・ 各種の手続きなど、事業者にはわからないこともあるので、実行委員会が行政との間に入って、進めていくことも重要と考える。

## 部会員

- ・ (自分自身はまだ)使うというイメージはわからないが、国道などの3つの道路により、(仮称)セントラルアベニューは分断されている。皆さんを巻き込み意見をいただくことも大事であるが、そのためにはある程度、使い方を想定して整備する方がよいと考える。完成後にどうぞでは難しいと思い、危惧するところである。

## 事務局長

- ・ 逆手にとってAゾーン、Bゾーン、Cゾーンに分けて考える方法もある。使用していただいて課題を解決していく必要がある。

## 岡崎市

- ・ 上部は色々使えるようにしたいが、地面の下の配線などは最初に整備しないとイケない。

## 部会員

- ・ 名称については、仮称ではなく早く決めた方がイメージが湧きやすい。造りたいもののイメージを共有できない気がする。また、カタカナより漢字やひらがなが良いと思う。

## 岡崎市

- ・ 現状のものは皆さんに良い案を出していただくための「仮称」でもある。

## シティプロモーション推進会議 座長

- ・ (仮称)セントラルアベニューの構想を聞くと、また分散(イベント場所が複数にまたがること)してしまうことが大変だと危惧している。
- ・ セントラルアベニューにこれだけの投資をすると、回遊性や岡崎公園を含むリバーフロント全体の構想から視点がこちらに寄ってしまう気がする。
- ・ 岡崎城、文化、伝統、回遊性のなかで言うと、岡崎公園の多目的広場にもっと投資していただきたい。
- ・ 全体計画の中で(仮称)セントラルアベニューをどう捉えるかを考えていただきたい。
- ・ これだけの空間ができてしまうと、イベントを行った場合、大きな障害となる可能性があるため、シティプロモーションとも連携する必要がある。

## 部会員

- ・ 現在のパイを分け合えば、取られたという発想が出てきてしまうが、岡崎全体の資産を総動員して市外から人を呼び込む発想を根底として、取り掛かる必要があると思う。
- ・ パイを取り合うという感覚は置いて、手を取り合って人を取り込むということで一緒にいただければと思う。

## 岡崎市

- ・ (仮称)セントラルアベニューは決して集中投資ではない。予算としては全体計画の90数億円のうちの1/3弱である。
- ・ 大きな柱が河川のプロムナードなどの横軸と、(仮称)セントラルアベニューの縦軸である。一番大事なのは岡崎公園と中心市街地を活性化させることであり、全体の回遊のエリアを広げていくことである。
- ・ 岡崎公園のエリアについては第2段ということで調査を進めている。歴史的・文化的な資産であり、歴史まちづくりの制度を利用して数年の内には整備をすすめる予定である。

## 部会員

- ・ 説明は理解できるが、現段階で具体的に見えてこない。岡崎城をどうするか、また、籠田公園との通路などの具体的なアイデアが見えない。

## 岡崎市

- ・ 市制100周年事業などは行政が中心となっていくが、岡崎城から籠田公園の通りは民間の皆さんが中心となっていくと考えていただき、行政に要望をいただければあり難い。
- ・ 乙川リバーフロント地区での行政の一步を踏み台にして進めていただければと思う。

## 事務局長

- ・ 両側民地に関してのアプローチは行政ではないと考える。民間が提案を行い、誘致などは、「りた」や「まち会社」の協力をいただき、商店街、民間が手を取りあって進めていきたいと考えている。

## 部会員

- ・ 乙川の南側の東岡崎駅前や川の駅などのように想定ができれば民間側もイメージが湧き意欲も湧くと思う。
- ・ （整備方針概要図を見て）りぶらやその周辺はどうなるのか。

## 事務局長

- ・ 現在は空地である。

## 部会員

- ・ 30 年来活動を続けてきて、乙川河川敷を岡崎のセントラルパークと言ってきた。大きな公園があると考ええると、活用しない手はない。これまで、なかなかできなかったが、乙川リバーフロント計画が動き出し、とても夢がある状態となった。
- ・ 康生、伝馬の人は、セントラルパークを囲む商店街として、何かやることがあるのではという気持ちになっている。
- ・ 民間を巻き込まなければならぬ。民間はどう動くか分からない。フレキシブルな対応が必要。良い方向に動いていると思うので、力を合わせる事が大事。また、目聡い人はすぐに動き出す。そういう人を巻き込むことが大事。
- ・ 事務局長より、下記イ～オについてスライド資料を用いて説明を行った

イ 河川敷について（ランニングコース等）について

ウ 水面について（観光船・カヌー等）について

エ プロムナード（リバーサイドカフェ等）について

オ 草刈り・清掃について（現状と今後について）。

## 〔意見交換〕

### 岡崎農遊会

- ・ 「荒地は人の心を荒廃する。」とのことで 100 名ほどの会として活動している。今は手で草刈りを行っているが、草刈機を買うように助成金を要請している。我々の会にできることがあればお手伝いしていきたい。

## 事務局長

- ・ 水面清掃については、市や場合によっては観光船、カヌー協会さんにも協力いただければと思う。
- ・ 増水後の清掃については、重機等が必要であり相談が必要であるが、市民でできる場所については行えればと考える。
- ・ 美化のための啓発活動については、キャンペーン等を行って、協力者を一人でも増やしていきたい。

## 副部会長

- ・ 川の利活用、主にアクティビティは魅力を感じるし、現実的であると感じる。ネックとなるのは事業サイドの評価である。何年で採算が取れペイできるのかということ。そのときに周辺の魅力と合わせて人をどれだけ呼べるかが重要。また、日常的に市民が水に親しむことも重要。

- ・ 回遊性を考えると、様々なアクティビティやお店があり、お客の取り合いが発生することもあると思われる。
- ・ イベント主催者からすると、イベントスペースは、数 10m の分断でも嫌がられる。(仮称) セントラルアベニューは国道 1 号線により分断されていて、イベント会場としては、籠田公園、人道橋につぐ三番目の選択肢になると思う。
- ・ 実際の利用を考えると、東側の民地への出入り口は確保する必要があるなど、制約が色々ある。やはり全体との関係性で位置付けを考える必要がある。
- ・ 人の流れなどの行動パターンを分析した上で活用計画を行わないと、絵に描いた餅になりかねない。
- ・ どのようにすれば流動的で、視界が開けて、休憩スペースができるか。また、民地との動線確保をどのようにするかなど、空間デザインでクリアできることもある。建築家などの空間のプロに考えていただくのも良いと思う。
- ・ (仮称)セントラルアベニューの名前について 2 案披露したい。一つは「外苑通り」。籠田総門跡があり、岡崎公園が内苑だとすると、お城の外側に位置したということで「外苑通り」。もう一つは「風の道」。甲山から籠田公園まで風の抜けが感じられると言われている。乙川が「水の道」として、それに対してということで提案させていただいた。

#### 事務局長

- ・ 実は美術博物館の前にすでに「風の道、水の道」がある。
- ・ 名前からハードにデザインが反映されることも考えられるが、多少ディティールの部分で修正は可能であるのか。

#### 岡崎市

- ・ セントラルアベニューの実施設計は H28 年度に予定している。来年度ぐらいに名称を決めればそれを実施設計に反映することは可能だと思う。

#### 部会員

- ・ せっかく四天王がいるので、「岡崎四天王通り」が良いかなと思う。
- ・ 桜祭りのときに家康行列の姫が沿道からはトラックで見えないため、例えばメインの最終中継地点である籠田公園で姫には降りていただいて、歩いて人道橋を渡っていただくと、楽しいのではないかなと思う。
- ・ 水辺の利活用を考えたときに郡上八幡が思い浮かんだ。
- ・ 整備は 5 年ということだが、中学 3 年生が 20 歳になる。もう少し、小中高生を巻き込むとよいと思う。その子供たちが自分のふるさとに誇りがもてるようになってほしい。
- ・ 海外のお客がニューグランドホテルに泊まり、朝散歩して「ここはいいところだ」という感想を聞く。海外の方のインターナショナルな感じも意識した進め方をさせていただければと思う。

#### 部会員

- ・ 先ほどの名称案「外苑通り」は良いと思った。また、私も四天王通りが最初に頭に浮かんだ。
- ・ 四天王像はずっとここに置くのか。

#### 岡崎市

- ・ 今の段階ではまだ最終決定ではない。

## 部会員

- ・ 家康行列の姫が歩く案については、距離の問題などもあり一度検討させていただきたい。

## 部会員

- ・ 籠田公園視点で考えていたが、イベントの拡張性が出てきて良いと思う。反面、怖いと思うのが警察協議である。現在イベントを行っている場所ではなく、(仮称)セントラルアベニューで行えばよいのでは、と言われる恐れがある。
- ・ 籠田公園視点では、籠田公園の許可が色々なイベントにより、オーバーフローになりつつある。使い勝手として、逆に分断されていて良いと思う。A、B、C、Dと広がりがあると思う。

## 部会員

- ・ 5年後にどうするかではなく、5年後がスタートである。どれだけ世界から人を呼び込めるかが重要である。岡崎にはそれだけの魅力がある。
- ・ 世界中で「庶民」の文化が最初に花開いたのが日本である。ヨーロッパよりもはるかに早い。
- ・ 5年後に最高のスタートを切れるように、今からが準備期間と考えたら良いと思う。

## 部会員

- ・ なるほど、岡崎はすごいと再認識する。岡崎について、皆が誇りを持てるようになると、おのずと色々な意見がでてくる。市民が岡崎について知る事が重要であり、その象徴としてはやはり家康なのではないかと思う。最初は反対していたが、最近は「家康凄いな」と思う。

## 部会員

- ・ 家康公の歴史を調べている先生に話を聞いたところ、徳川家康と呼び捨てにしてはいけないと言われた。家康公と呼ぶことで親しみがもてるし、どういう存在かという位置付けもはっきりしてくる。
- ・ 海外から来た方々に感じていただくことも重要。そのために四天王石像も良いと思うし、民間から十六神将像などを作りたいという話がでてきても良いと思う。そのようにして道路との一体感ができるとよいと思う。

## シティプロモーション推進会議 委員

- ・ 計画に籠田公園まで入れていただけてうれしい。街のことをどうしていくかは、街の人達が、手をあげることが大事だと思う。乙川リバーフロント地区整備計画のことを街の人や商店の人に話をしている。
- ・ 商店主を集めて、街に人を呼ぼうという取組みをしている。そこで面白いアイデアが出てくる。クリスマスにイルミネーションを行い観光スポットにする。
- ・ 京都の着物パスポートを行いたい。岡崎城と康生を結ぶため、康生物産展を H27.1.8 に開くなど、商店の人達が行いたいことを手伝っていく必要があると思う。

## 市民

- ・ 若い人の意見を聞いてあげたいといったお話が合ったが、岡崎は歴史の街であり、それを担保するのは年配の方々である。歴史の街はお年寄りのうんちくある知恵が生きていると思う。岡崎市のためには外部からのお客さんが必要であり、お年寄りの方の意見を入れていただきたい。
- ・ 現時点の予算の内容を知りたいが、市民に公開しているのか。また、わたしはディズニー

ランド等の整備へ関わってきた経験があるため、アドバイスをしたいと思うがそれを受け入れる余地があるのか。

- ・ 今日話しを聞いて、乙川リバーフロント推進部会のメンバーは素晴らしいと感じた。どのように選定しているのか教えていただきたい。

#### 部会員

- ・ 若い人と言ったのは、かっちりででき上がっている総代を中心とした町内会の組織では発展的な意見が出てくる可能性が低いと思うためである。若い人を中心とした組織を作った方が良いという意味で言った。総代さん個人や高齢者を否定している訳ではない。

#### 事務局長

- ・ 人選については、1年目は観光集客関係を中心として、2年目は今後を担っていく方を中心として、地元の方、メディアの方などで構成している。今後、協議会や実行委員会に変わっていくため、ご意見をいただける仕組みを作っていきたい。

#### 岡崎市

- ・ 予算については報道発表等で総額と橋などの主要な事業について発表している。概算ではあるが、県・市の積算基準から積算している。それは通常の公共工事で積算する方法と同じである。今後、さらに精査していく。積算基準については公開されている。

#### 岡崎市

- ・ お問合せいただければ、橋、プロムナードなどの各項目の金額はお答えできると思う。

#### シティプロモーション推進会議 座長

- ・ 岡崎を盛り上げるにはどうしたらよいかという結論が「家康公」であることは、シティプロモーションと同じであり、そこが出てきたことをうれしく思っている。
- ・ シティプロモーションを推進する立場から言えば、こんな良い材料ができて、これをどのようにして岡崎ルネッサンスに繋げるかが私たちの課題である。今後もお互い協力していきたい。

#### 部会長

- ・ 本日も色々な意見が出た。ディティールも大事だが、グランドデザインを踏まえた上でどう展開するかが大事である。部会員の一部からは5年後がスタートと言ったが、私は100周年をスタートとして、次の100年に向かってという長期的なプロジェクトで良いと考える。このプロジェクトは、市長が代わることで変わってしまうプロジェクトではなく、岡崎市民にとって必要なプロジェクトである意味合いで、エンドレスで成長し続ける展開になるとよいと思う。
- ・ 最後に、本当の意味の情報公開、民意の反映について考えるべき。市長の言葉では、百何十回話しているというお言葉があるが、実際には市民には分かりえない知りえないこともある。今後の展開として少しずつ高めて行ってほしい。
- ・ 今後、部会員が、広告塔として、「計画にはこんな意味がある」ということを市民の人たちに伝えることで、民意や情報公開の部分を十分補えると思う。今後の展開のための大きなエネルギーが必要である。皆さんと協力していきたい。



#### (4) 事務連絡

下記のとおり今後の活動について連絡を行った。

『第4回 岡崎活性化本部 乙川リバーフロント推進部会』の開催について

日時：平成26年12月24日（水）14：00～16：00

会場：岡崎市福社会館 大ホール

#### 4 閉 会

岡崎活性化本部事務局より閉会宣言。

以 上